

第33回 関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会 開催結果概要

■日時：令和7年2月17日（月曜日）15時から16時

■場所：ホテル日航関西空港 1階 鶴の間

■会議の内容：

○大阪府政策企画部長から開催挨拶

○議題

①航空機騒音等について

関西エアポート株式会社から、航空機騒音や飛行高度の測定結果等について、特に問題となるケースは見られない旨の報告があった。

②「環境面の特別の配慮」の措置状況について

事務局から、平成10年の陸上飛行経路導入の前提条件である「環境面の特別の配慮」について、適切に措置されている状況を報告した。

③新飛行経路導入後における環境監視について

国土交通省から、新飛行経路導入のスケジュールについて説明があった。続いて事務局から、導入後の環境監視案の基本的考え方及び現状との比較について説明した。続いて関西エアポート株式会社から、航跡動画のホームページ公開についてデモ画面で説明があった。

④その他

泉州地域から要望のあった、新飛行経路導入に伴う「特段の配慮」と「地域活性化」に関する大阪府の取組み状況について、事務局から説明した。

関西エアポート株式会社から、泉州地域の振興について関係者と連携して取組みを推進していく旨の発言があった。

○岬町長から、パイロットのアルコール摂取に関する一層の注意喚起及び新飛行経路導入後における環境監視について、しっかりと行ってほしい旨の発言があった。

○貝塚市長から、泉州地域全体での空港アクセス道路の整備及び沿道の産業立地について、大阪府の一層の尽力を求める旨の発言があった。

○阪南市長（泉州市・町関西国際空港推進協議会会長）から、今後の空港と地域の活性化に向け、関係各位の協力をお願いする旨の発言があった。

○国土交通省近畿圏・中部圏空港課長、大阪航空局長、新関西国際空港株式会社代表取締役社長及び関西エアポート株式会社代表取締役社長CEOから一言ずつコメント